大草谷津田いきものの里　自然観察会

クモはおもしろいぞ！

西野孝法（千葉市）

日時：2024 年 10 月 20 日（日）10 時 30 分～12 時　天気：曇り時々晴れ
参加者： 4 家族 9 名（大人 6 名　子ども 3 名）
担当指導員：田島、中田、西野　参加指導員：木下、奥村、相吉

観察会は、秋の爽やかな気候の中で、4 家族 9 名が参加し、クモのおもしろさを堪能した観察会となりました。

＜はじめに/クイズによるクモの基礎知識、観察会での注意事項＞

フィールドに出る前にクモの基礎知識（網は渦巻か同心円か、網に上向きに止まるか下向きに止まるか、毒の強いクモはどれか）を学習しました。また、スズメバチについての注意事項を伝えました。

＜フィールドでの観察/クモの多様性、生活ぶりなどを観察＞

参加者に観察のポイント（「網を張るクモと張らないクモ」「クモの体色」「クモの食事」「クモの卵のう」など）を伝え、虫メガネと霧吹きを各家族に一つずつ配り出発しました。観察会を始めるとすぐにジョロウグモを発見、網を張るクモの観察となりました。参加者は、霧吹き使って網に水滴を着けると網の模様や形が浮かび上がることに喜んでいました。また、ジョロウグモの網では、小さなオスや居候しているクモも観察できました。その他にゴミグモ、ウズグモを発見し、種類によって網に違いがあること及び天敵から身を守るなど網の役割を説明しました。

次に、クモの食事の様子を観察しました。ナガコガネグモを発見し、網を観察した後にバッタを網に掛けてクモがバッタを糸でぐるぐる巻きにして食べる様子を観察しました。参加者は、バッタを網でぐるぐる巻きをする様子を大変興味深く見ていました。

最後に田んぼの畔に行き、網を張らないクモのハシリグモの仲間やオオトリノフンダマシを見つけました。特にオオトリノフンダマシのクモとは思えない不思議な形、模様に「カマキリの顔みたい！」などと言って大いに盛り上りました。さらにコガタコガネグモの卵のうを見ると、「枯葉にしか見えない」と巧みなカモフラージュに感動していました。

＜まとめ/参加者の感想＞

「身近にいながらクモについて何も知らなかった」「クモのおもしろさを知ることができて楽しかった」など感想をいただき、観察会を終了しました。